

2026年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

(冬期・一般選抜) 問題

専門科目 言語学 専攻分野

試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。

受験記号番号	
--------	--

成	
績	

2026年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

(冬期・一般選抜) 問題

専門科目 (言語学 専攻分野)

I. 以下の文章を読み、問 (i) ~ (iii) に答えなさい。

著作権の都合上、この部分をご覧いただけません。

受験記号番号	
--------	--

著作権の都合上、この部分をご覧いただけません。

受験記号番号	
--------	--

著作権の都合上、この部分をご覧いただけません。

受験記号番号	
--------	--

著作権の都合上、この部分をご覧いただけません。

著作権の都合上、この部分をご覧いただけません。

(Samuel Andersson, Oliver Sayeed, Bert Vaux. The Phonology of Language Contact. *Oxford Handbook Topics in Linguistics* (online edn, Oxford Academic, 5 Dec. 2014), を一部改編

<https://doi.org/10.1093/oxfordhb/9780199935345.001.0001>.

- 問 (i) 下線 (i) について、本文で挙げられている以外に自分が知っている言語の例を挙げながら、具体的に説明しなさい。
- 問 (ii) 下線 (ii) で指摘されている現象の背景には、どのような音韻上の理由が考えられるか。具体例を示しながら論じなさい。
- 問 (iii) 借用語の定着過程を明らかにするために、どのような実証的研究を行うことが有効か。この文章で紹介されているいくつかの可能性に言及しながら、研究案を示しなさい。

II. 「博士後期課程入学試験」を標準語で通常の速度で発話した場合の発音を、国際音声字母 (international phonetic alphabet: IPA) で表記しなさい。

III. 次の 10 語の中から 5 語を選び、日本語に訳した上で簡潔に説明しなさい。

1. deixis
2. syllable
3. orthographic depth
4. argument
5. motherese
6. McGurk effect
7. critical period
8. allophone
9. absolutive
10. scalar implicature

問題 I、II、III の回答は次ページ以降にまとめて記すこと。
